

調査結果の概要

II 調査結果の概要

一万人アンケートは、県民の皆さんの行政の各分野に対する満足意識、重要意識等を把握し、県政運営に活用するため実施しています。このたび、平成 22 年度の結果をとりまとめましたのでその概要を報告します。

1. お住まいの地域の住みやすさについて

お住まいの地域は住みやすいと答えた方¹の割合は 69.0%となり、前回に比べ 2.6 ポイント減少しました。また、平成 10 年度からの推移を見ると、平成 17 年度までは増加傾向にありましたが、平成 18 年度以降は減少し続け、今回の調査では過去最低の割合となっています。

地域別にみると、住みやすいと答えた方は北勢地域が最も多く、次いで中南勢地域、伊勢志摩地域、伊賀地域、東紀州地域の順となっています。

図 住みやすいと答えた方の割合の推移

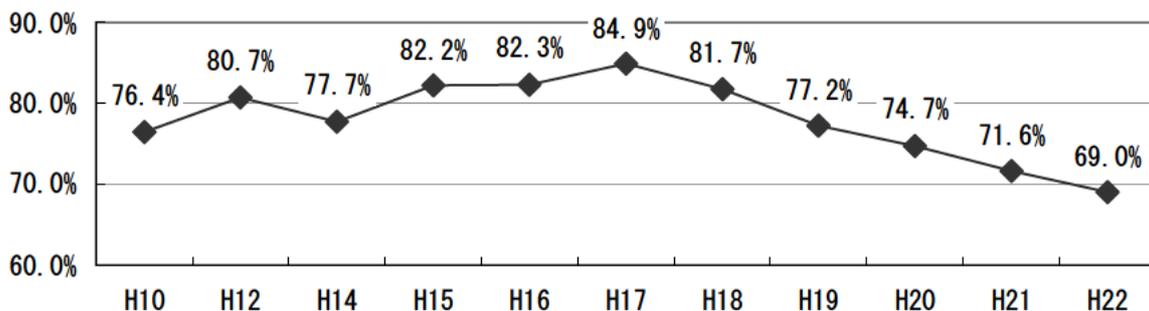
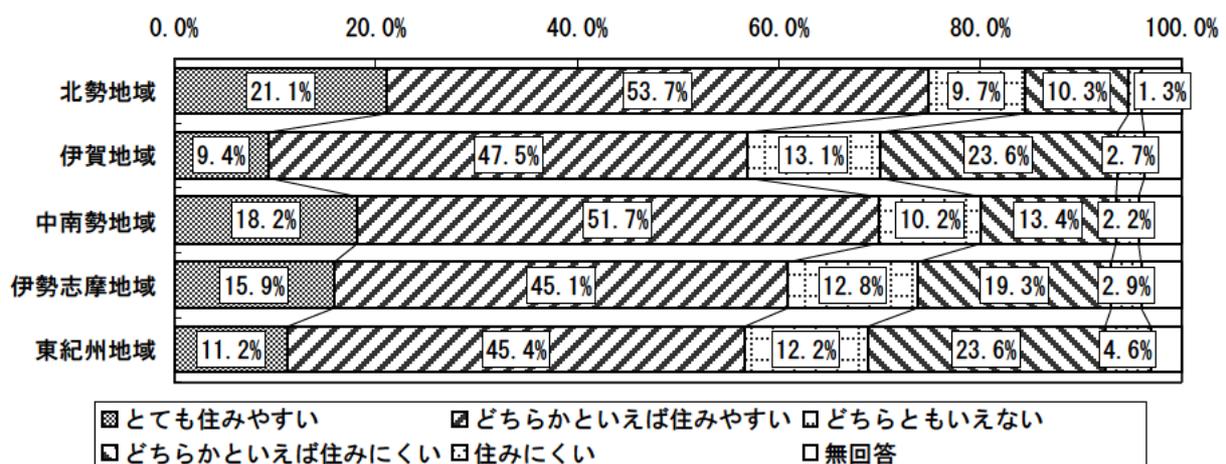


図 地域別 お住まいの地域の住みやすさについての評価



¹ 「とても住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計

2. 住みやすい及び住みにくいと感じている点

住みやすいと答えた方（69.0%）及び住みにくいと答えた方（16.3%）を対象に、それぞれ満足している部分、不足している部分を調査したところ、以下のようになりました。

（1）住みやすいと感じている点

住みやすいと感じている点については、「きれいな空気」が37.2%と最も多く、次いで「自然環境との共生」（26.2%）となっており、県民の多くは自然環境を評価していることがうかがえます。次いで、「公共交通機関」（17.6%）、「道路の整備」（15.7%）、「医療体制」（15.0%）などとなっています。

平成21年度と比較すると、「公共交通機関」（7位→3位）、「子育て環境」（8位→6位）などが上昇している一方、「飲料水の供給」は前回3位から7位となり、構成比も9.2ポイント減少と大きく低下しています。

表 住みやすいと感じている点（上位10項目）

順位	平成22年度		前 年 比	順位	平成21年度	
	項目	構成 比			項目	構成 比
第1位	きれいな空気【くらし】	37.2%	←	第1位	きれいな空気【くらし】	32.3%
第2位	自然環境との共生【くらし】	26.2%	←	第2位	自然環境との共生【くらし】	25.3%
第3位	公共交通機関【絆】	17.6%	↑	第3位	飲料水の供給【くらし】	23.4%
第4位	道路の整備【絆】	15.7%	↑	第4位	医療体制【くらし】	16.5%
第5位	医療体制【くらし】	15.0%	↓	第5位	道路の整備【絆】	14.8%
第6位	子育て環境【くらし】	14.7%	↑	第6位	食の安全【くらし】	14.4%
第7位	飲料水の供給【くらし】	14.2%	↓	第7位	公共交通機関【絆】	13.3%
第8位	食の安全【くらし】	11.6%	↓	第8位	子育て環境【くらし】	10.4%
第9位	防犯【くらし】	10.8%	←	第9位	防犯【くらし】	9.7%
第10位	高速交通網【絆】	10.2%	←	第10位	高速交通網【絆】	9.6%

○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	23.きれいな空気 37.2%	20.自然環境との共生 26.2%	38.公共交通機関 17.6%	37.道路の整備 15.7%	18.医療体制 15.0%
北勢地域	23.きれいな空気 26.5%	20.自然環境との共生 22.6%	38.公共交通機関 21.7%	18.医療体制 18.2%	37.道路の整備 18.0%
伊賀地域	23.きれいな空気 59.4%	20.自然環境との共生 34.5%	14.食の安全 14.3%	44.飲料水の供給 13.4%	13.防犯 11.9%
中南勢地域	23.きれいな空気 37.1%	20.自然環境との共生 26.4%	38.公共交通機関 20.0%	37.道路の整備 17.2%	18.医療体制 16.7%
伊勢志摩地域	23.きれいな空気 55.9%	20.自然環境との共生 29.8%	14.食の安全 17.8%	17.子育て環境 16.2%	24.川や海の水質 16.0%
東紀州地域	23.きれいな空気 66.2%	20.自然環境との共生 41.9%	24.川や海の水質 28.2%	14.食の安全 20.6%	44.飲料水の供給 18.9%

- ・全地域で「きれいな空気」が第1位、「自然環境との共生」が第2位となっています。
- ・上記以外の項目では、「食の安全」が3地域で、「公共交通機関」「医療体制」「道路の整備」「飲料水の供給」「川や海の水質」が2地域で、「防犯」が伊賀地域で、「子育て環境」が伊勢志摩地域で上位5項目に入っています。

(2) 住みにくいと感じている点

住みにくいと感じている点については、「医療体制」が36.8%と最も多く、次いで「公共交通機関」(34.2%)、「雇用」(28.0%)となっており、これら3つの項目が他と比較して多くなっています。

平成21年度と比較すると、「雇用」が10.7ポイント増加と構成比が大きく上昇しています。

表 住みにくいと感じている点(上位10項目)

順位	平成22年度		前 年 比	順位	平成21年度	
	項目	構成 比			項目	構成 比
第1位	医療体制【くらし】	36.8%	←	第1位	医療体制【くらし】	36.4%
第2位	公共交通機関【絆】	34.2%	←	第2位	公共交通機関【絆】	36.3%
第3位	雇用【元気】	28.0%	←	第3位	雇用【元気】	17.3%
第4位	道路の整備【絆】	15.3%	←	第4位	道路の整備【絆】	14.1%
第5位	子育て環境【くらし】	12.0%	↑	第5位	防犯【くらし】	11.3%
第6位	福祉サービス【くらし】	10.3%	↑	第6位	子育て環境【くらし】	11.2%
第7位	快適なまちづくり【絆】	9.0%	←	第7位	快適なまちづくり【絆】	9.4%
第8位	防犯【くらし】	8.7%	↓	第8位	交通安全【くらし】	8.0%
第9位	地域商工業【元気】	8.4%	↑	第9位	学校教育【元気】	7.8%
第10位	過疎地域等の振興【絆】	7.8%	↑	第10位	災害対策【くらし】	7.4%

○地域別 上位5項目

地域	1位	2位	3位	4位	5位
県全体	18. 医療体制 36.8%	38. 公共交通機関 34.2%	31. 雇用 28.0%	37. 道路の整備 15.3%	17. 子育て環境 12.0%
北勢地域	38. 公共交通機関 30.8%	18. 医療体制 18.7%	37. 道路の整備 15.4%	19. 福祉サービス 14.3%	12. 交通安全 13.2%
伊賀地域	18. 医療体制 59.6%	38. 公共交通機関 46.5%	31. 雇用 32.9%	37. 道路の整備 13.6%	42. 過疎地域等の振興 13.1%
中南勢地域	38. 公共交通機関 38.6%	18. 医療体制	31. 雇用 26.0%	37. 道路の整備	17. 子育て環境 16.5%
伊勢志摩地域	18. 医療体制 53.6%	31. 雇用 46.4%	38. 公共交通機関 25.3%	37. 道路の整備 15.7%	17. 子育て環境 12.0%
東紀州地域	18. 医療体制 59.6%	31. 雇用 54.2%	38. 公共交通機関 28.6%	42. 過疎地域等の振興 18.2%	36. 高速交通網 16.3%

・全地域で「公共交通機関」「医療体制」が上位5項目としてあげられています。また、「道路の整備」「雇用」が4地域、「過疎地域等の振興」「子育て環境」が2地域で上位5項目に入っています。

・上記以外の項目では、「福祉サービス」「交通安全」が北勢地域で、「高速交通網」が東紀州地域で上位5項目に入っています。

3. 今後の定住意向について

※15年度からの調査項目

「今の地域に住み続けたい」と答えた方の割合は 65.6%、「三重県内の別の地域に住みたい」と答えた方の割合は 9.7%で、これらを合計すると 75.3%になります。また、合計の推移を見ると、平成 20 年度以降は少しずつ減少しています。

地域別にみると、「今の地域に住み続けたい」と答えた方は北勢地域が 67.6%で最も多くなっています。「三重県内の別の地域に住みたい」は伊勢志摩地域（12.8%）と東紀州地域（12.3%）が 1 割以上で他の地域に比べて多くなっています。「県外に住みたい」は伊賀地域（9.4%）で最も多くなっています。

図 定住意向の推移

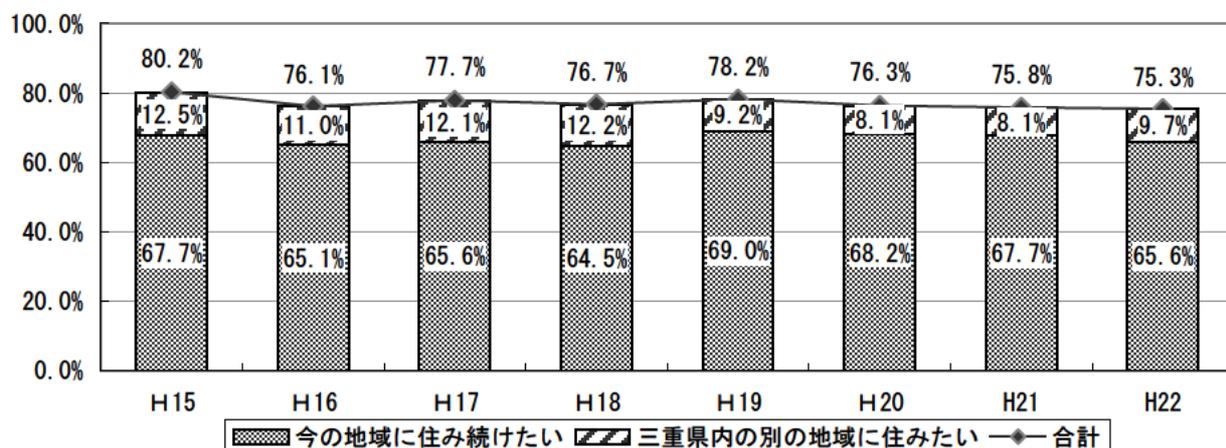
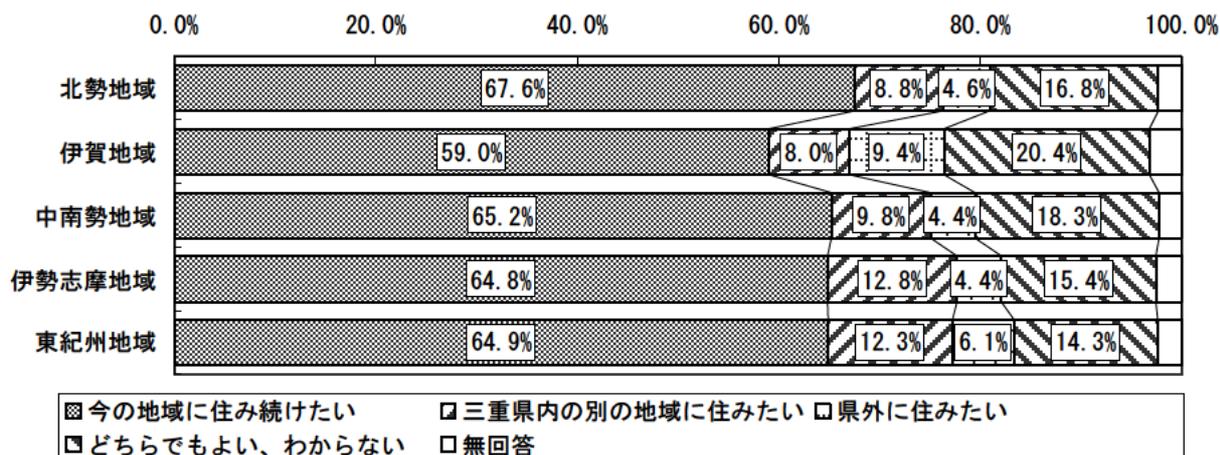


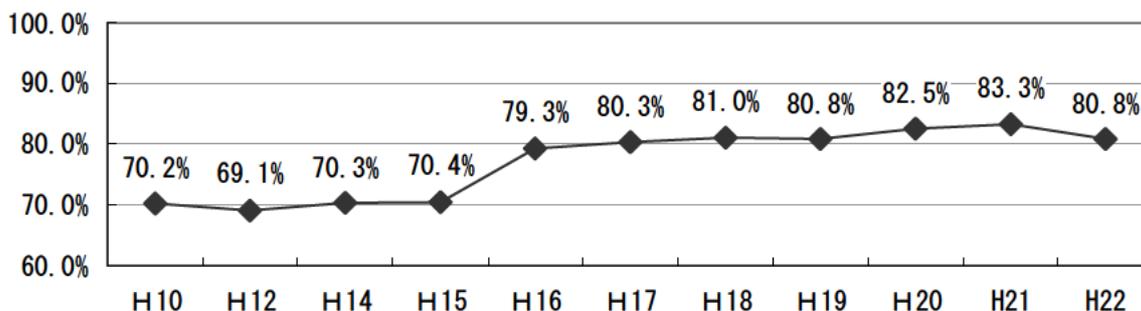
図 地域別 定住意向



4. 現在の行政の取組全般に対する重要意識

現在の行政の取組全般に対する重要意識²について、全44項目の平均で見ると80.8%となっています。平成16年度以降は増加傾向にありましたが、今回は前回に比べて2.5ポイント減少しています。

図 重要意識の推移

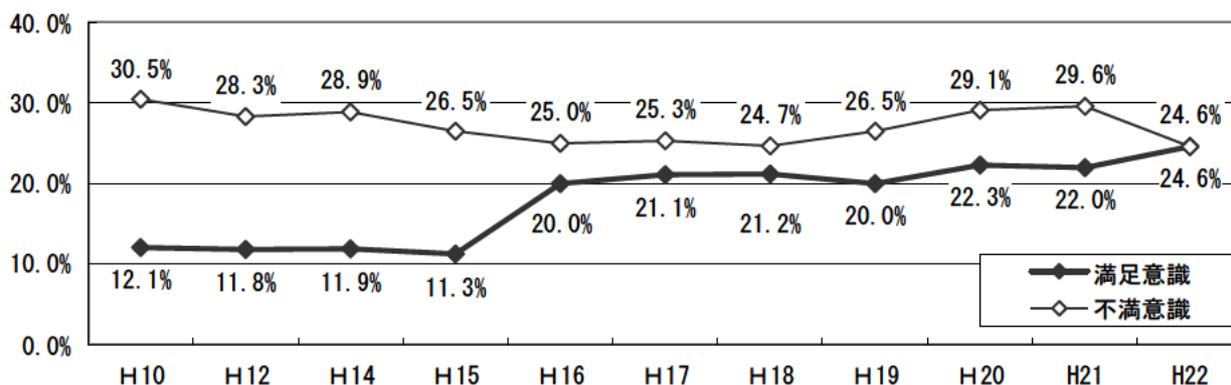


(平成16年度調査から設問の表現を変更したため、平成15年度以前は参考扱い。)

5. 現在の行政の取組全般に対する満足意識、不満足意識

現在の行政の取組全般に対する満足（不満）意識³について、全44項目の平均で見ると、満足意識と不満足意識がともに24.6%となっています。平成10年度から一貫して不満足意識が満足意識を上回り、平成19年度以降は差が開いていましたが、今年度は、満足意識は増加した一方で不満足意識は減少し、同じ割合となっています。

図 満足（不満）意識の推移



(平成16年度調査から設問の表現を変更したため、平成15年度以前は参考扱い。)

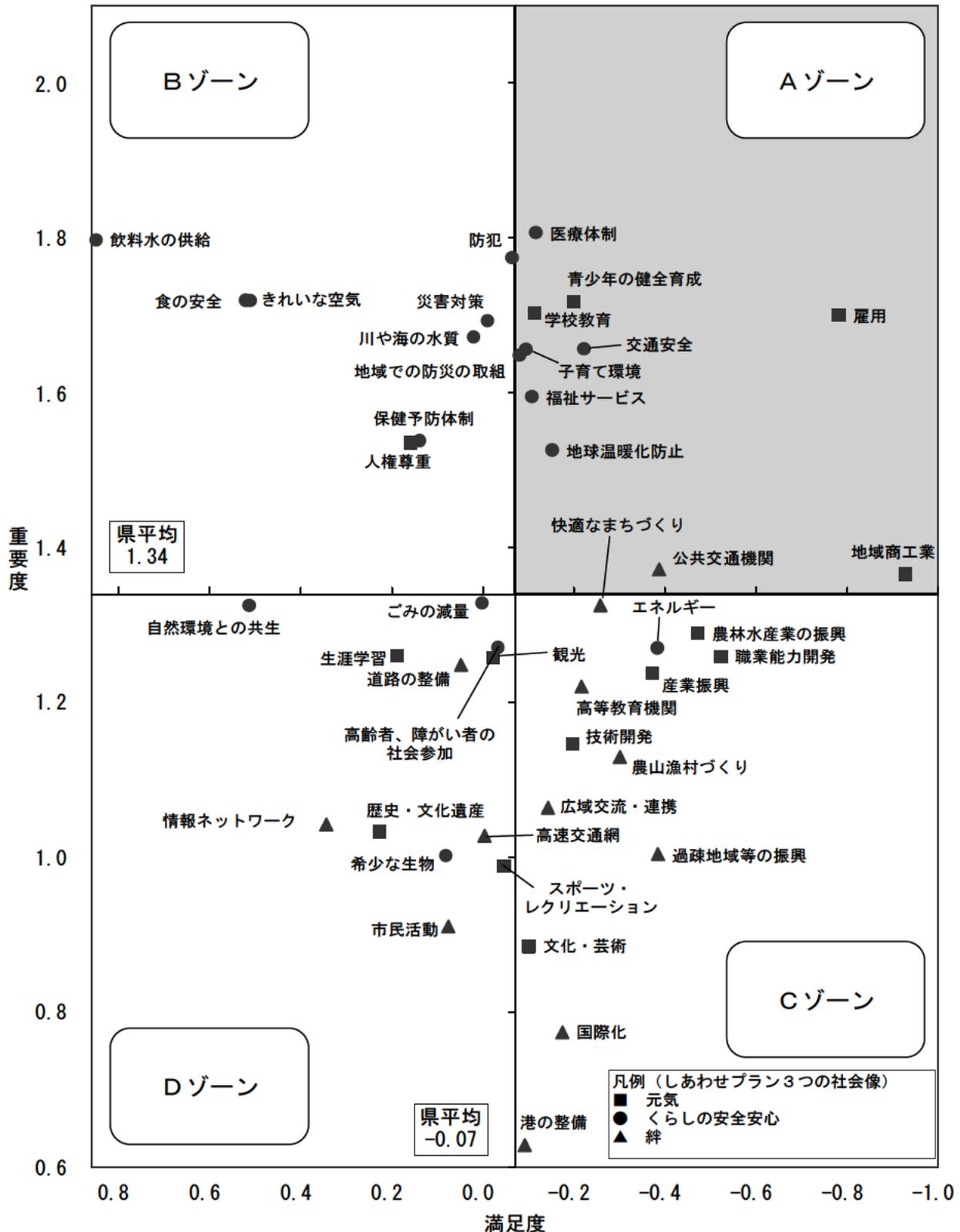
² 「重要」と「どちらかといえば重要」の合計

³ 満足意識＝「満足」と「どちらかといえば満足」の合計、不満足意識＝「不満」と「どちらかといえば不満」の合計

6. 現在の行政の各分野における取組について

アンケートで得られた重要意識・満足意識から計算した重要度・満足度（※「2. 重要度、満足度について」p126～127 参照）を、それぞれ縦軸・横軸にとって44項目の回答結果（p128 参照）をプロットすると、下図のようになります。

図 重要度・満足度プロット図（重要度と満足度の関係（平成22年度））



(1) 重要度、満足度の状況

・取組に対する県民のニーズが特に高いもの

【Aゾーン 重要度が平均値より高く、満足度が平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、特に取組の推進や改善に対する県民のニーズが高い項目と考えられ、従来の施策の取組について、さらに改善を検討する必要があります。

項 目
「学校教育」「青少年の健全育成」「地域での防災の取組」「交通安全」
「子育て環境」「医療体制」「福祉サービス」「地球温暖化防止」
「地域商工業」「雇用」「公共交通機関」

・取組の必要性と内容に対する県民の評価が得られているもの

【Bゾーン 重要度、満足度ともに平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左上に位置する項目は、施策の必要性が充分認識され、その取組にも満足されている項目と考えられ、今後も現在の水準を維持するため、着実に取組を推進する必要があります。なお、「飲料水の供給」は従来から重要度、満足度ともに高い評価を得ています。

項 目
「人権尊重」「災害対策」「防犯」「食の安全」「保健予防体制」「きれいな空気」「川や海の水質」「飲料水の供給」

・取組に対する県民の満足度は低いものの、必要性の認識も低いもの

【Cゾーン 重要度、満足度ともに平均値より低い項目】

「重要度・満足度プロット図」の右下に位置する項目は、取組の推進や改善に対するニーズは高いものの、他の施策と比較してその必要性の認識が低い項目と考えられ、施策の重要性をさらに認知してもらえるような取組とともに、従来の取組の改善も検討する必要があると考えられます。

項 目
「高等教育機関」「文化・芸術」「農林水産業の振興」「産業振興」「技術開発」「職業能力開発」「国際化」「広域交流・連携」「港の整備」「快適なまちづくり」「農山漁村づくり」「過疎地域等の振興」「エネルギー」

・必要性の認識は低いものの、取組に対する満足度は高いもの

【Dゾーン 重要度が平均値より低く、満足度は平均値より高い項目】

「重要度・満足度プロット図」の左下に位置する項目は、他の施策と比較してその必要性の認識は低いものの、取組には満足されている項目と考えられ、着実に取組を推進するとともに、施策の重要性についてさらに認知してもらえる取組を進める必要があると考えられます。

項目
「生涯学習」「市民活動」「歴史・文化遺産」「スポーツ・レクリエーション」 「高齢者、障がい者の社会参加」「自然環境との共生」「希少な生物」「ごみの減量」 「観光」「情報ネットワーク」「高速交通網」「道路の整備」

今回の調査と平成 21 年度調査を比較して、他のゾーンから Aゾーンに移動した、または、Aゾーンから他のゾーンに移動した項目は以下のとおりです。

表 ゾーンが移動した項目

ゾーンの移動	項目
重要度が平均値より高くなった項目 (Cゾーン→Aゾーン)	「地域商工業」「公共交通機関」
満足度が平均値より高くなった項目 (Aゾーン→Bゾーン)	「防犯」「川や海の水質」
重要度が平均値より低くなった項目 (Aゾーン→Cゾーン)	「エネルギー」

(2) 地域別の重要度、満足度の状況

各地域の重要度の高い項目、満足度の低い項目の上位 10 位までの順位は下表のとおりです。

① 重要度の高い項目

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	18. 医療体制
2位	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	18. 医療体制	44. 飲料水の供給	44. 飲料水の供給
3位	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	13. 防犯	31. 雇用	31. 雇用
4位	14. 食の安全	23. きれいな空気	03. 学校教育	04. 青少年の健全育成	13. 防犯	13. 防犯
5位	23. きれいな空気	04. 青少年の健全育成	31. 雇用	14. 食の安全	23. きれいな空気	23. きれいな空気
6位	04. 青少年の健全育成	14. 食の安全	23. きれいな空気	11. 災害対策	14. 食の安全	24. 川や海の水質
7位	03. 学校教育	03. 学校教育	04. 青少年の健全育成	31. 雇用	11. 災害対策	11. 災害対策
8位	31. 雇用	11. 災害対策	14. 食の安全	23. きれいな空気	10. 地域での防災の取組	14. 食の安全
9位	11. 災害対策	31. 雇用	24. 川や海の水質	03. 学校教育	24. 川や海の水質	10. 地域での防災の取組
10位	24. 川や海の水質	24. 川や海の水質	17. 子育て環境	12. 交通安全	04. 青少年の健全育成	04. 青少年の健全育成

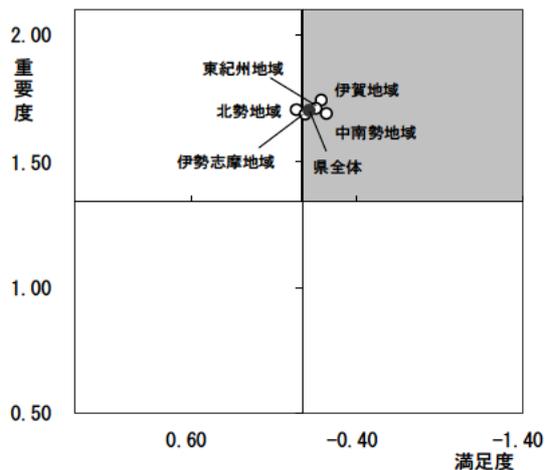
② 満足度の低い項目

順位	県全体	北勢地域	伊賀地域	中南勢地域	伊勢志摩地域	東紀州地域
1位	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	30. 地域商工業	31. 雇用
2位	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	31. 雇用	30. 地域商工業
3位	32. 職業能力開発	32. 職業能力開発	18. 医療体制	26. 農林水産業の振興	32. 職業能力開発	38. 公共交通機関
4位	26. 農林水産業の振興	26. 農林水産業の振興	32. 職業能力開発	32. 職業能力開発	27. 産業振興	32. 職業能力開発
5位	38. 公共交通機関	43. エネルギー	38. 公共交通機関	42. 過疎地域等の振興	38. 公共交通機関	18. 医療体制
6位	42. 過疎地域等の振興	38. 公共交通機関	26. 農林水産業の振興	27. 産業振興	26. 農林水産業の振興	36. 高速交通網
7位	43. エネルギー	25. 地球温暖化防止	42. 過疎地域等の振興	41. 農山漁村づくり	42. 過疎地域等の振興	27. 産業振興
8位	27. 産業振興	42. 過疎地域等の振興	43. エネルギー	43. エネルギー	43. エネルギー	42. 過疎地域等の振興
9位	41. 農山漁村づくり	04. 青少年の健全育成	27. 産業振興	38. 公共交通機関	18. 医療体制	26. 農林水産業の振興
10位	40. 快適なまちづくり	12. 交通安全	40. 快適なまちづくり	12. 交通安全 04. 青少年の健全育成	41. 農山漁村づくり	41. 農山漁村づくり

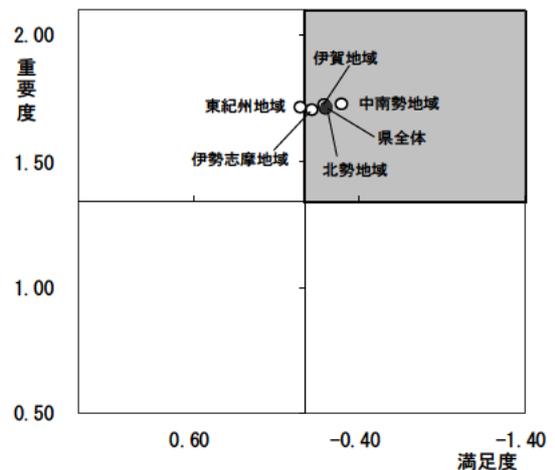
③ 各地域でAゾーンに入っている項目

いずれかの地域でAゾーンに入っている項目は、下記の 22 項目となっています。図中の「-」は県平均（重要度 1.34、満足度-0.07）を示しています。

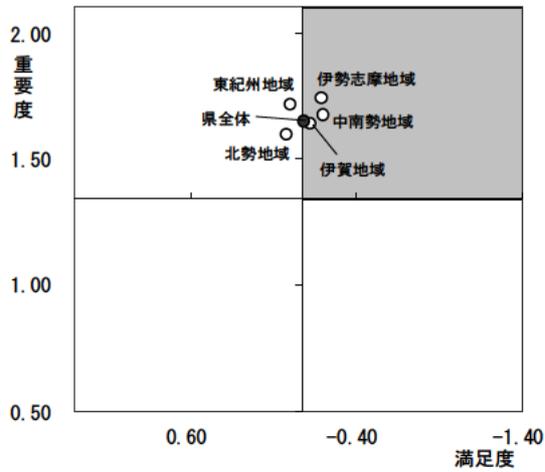
3 【学校教育】



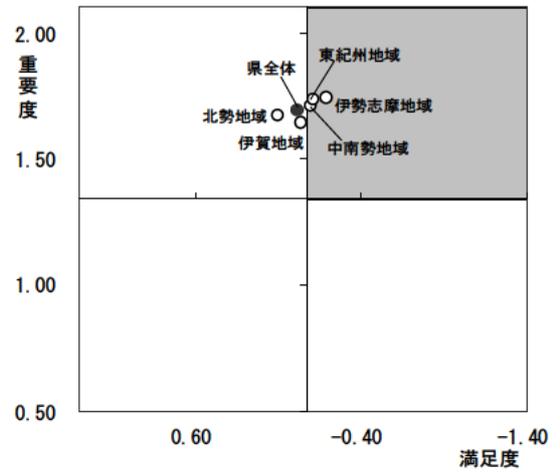
4 【青少年の健全育成】



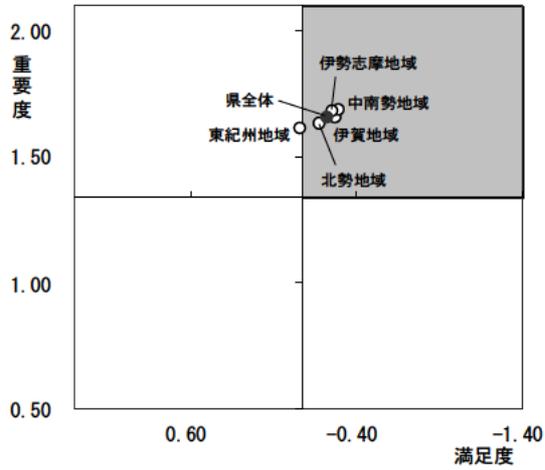
10 【地域での防災の取組】



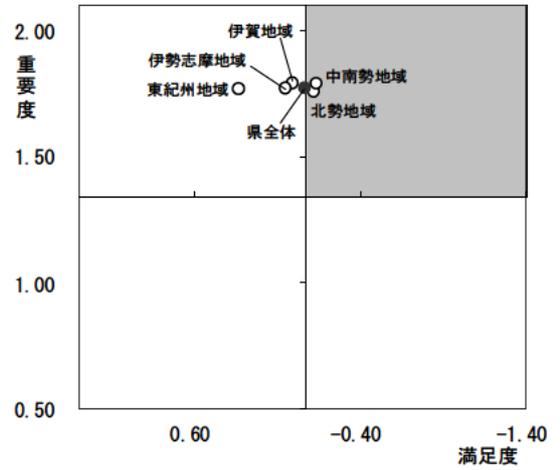
11 【災害対策】



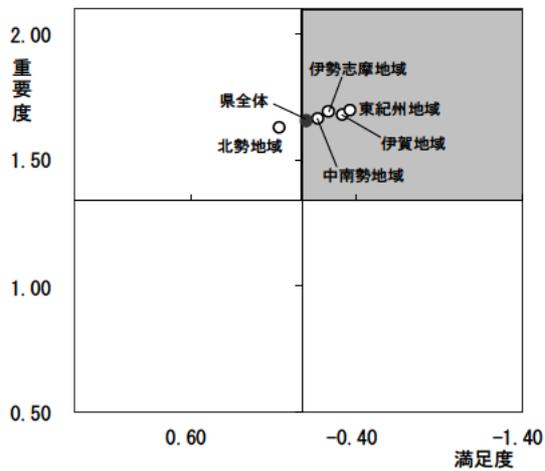
12 【交通安全】



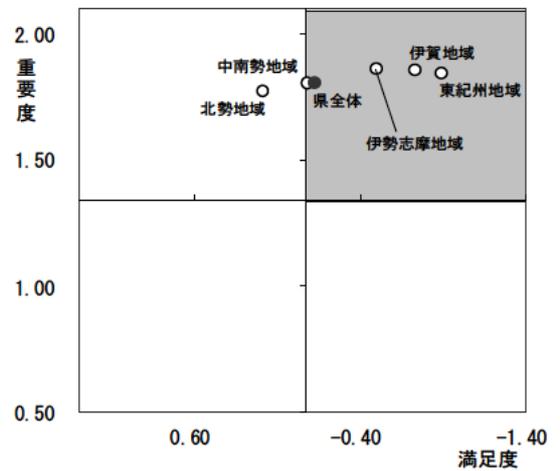
13 【防犯】



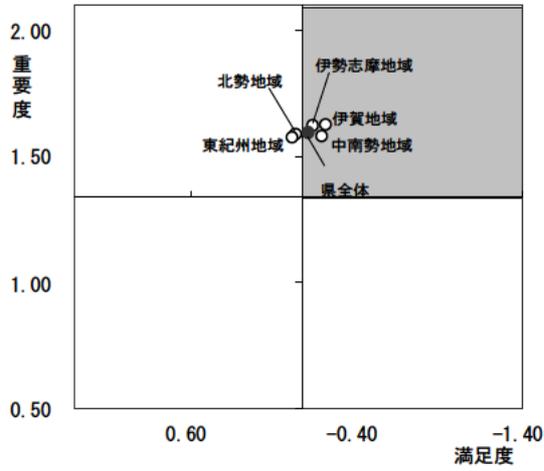
17 【子育て環境】



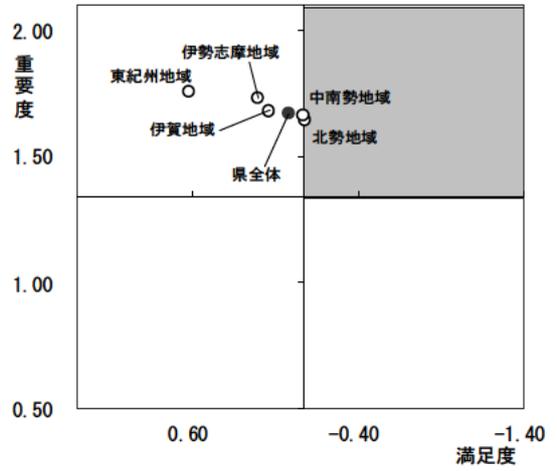
18 【医療体制】



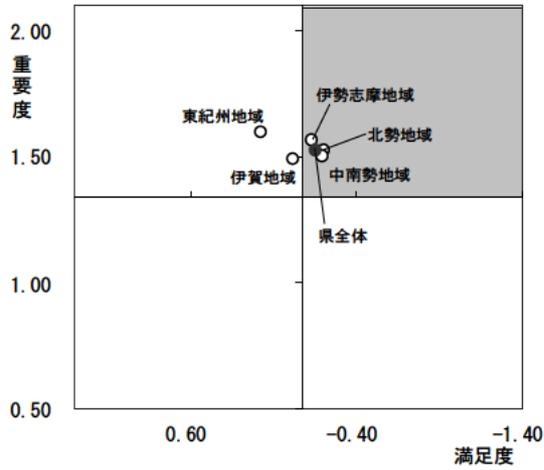
19 【福祉サービス】



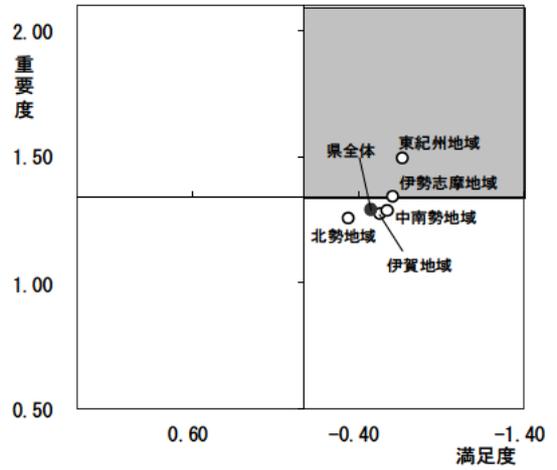
24 【川や海の水質】



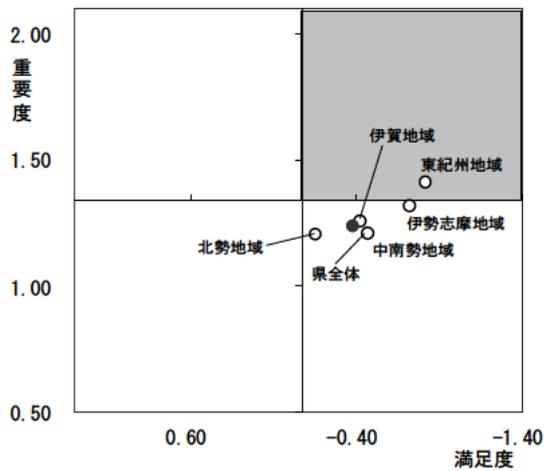
25 【地球温暖化防止】



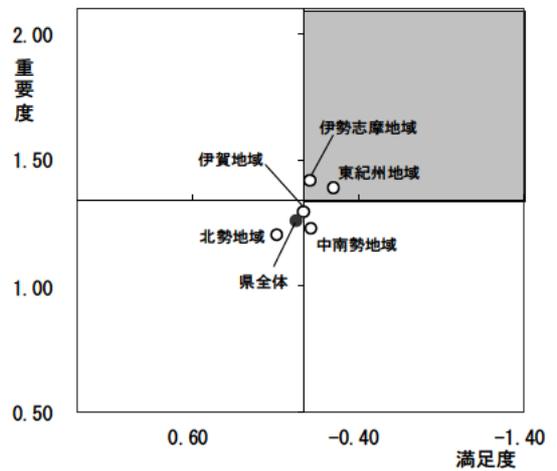
26 【農林水産業の振興】



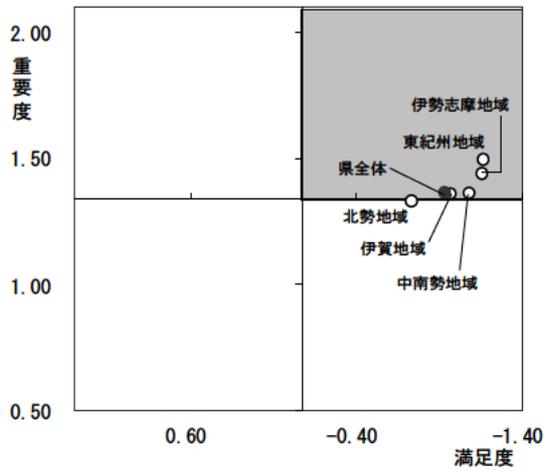
27 【産業振興】



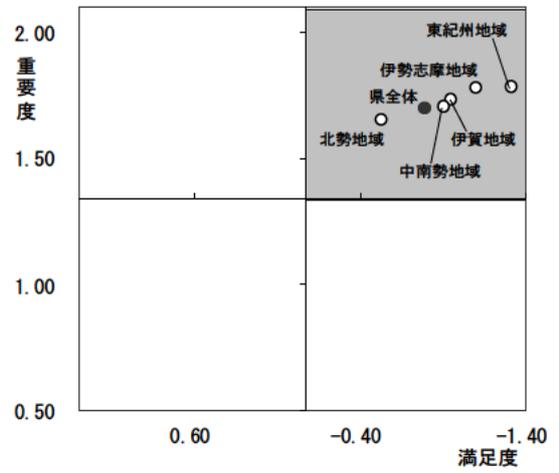
28 【観光】



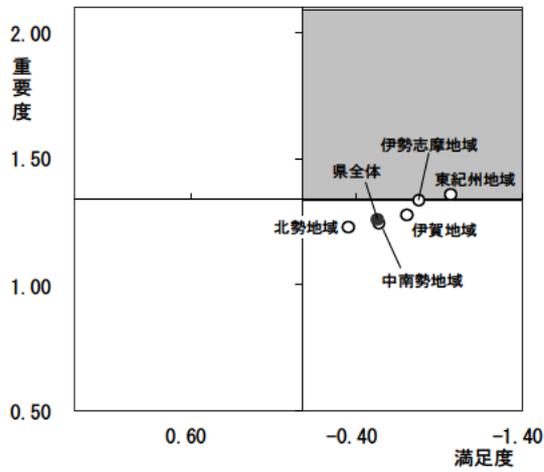
30 【地域商工業】



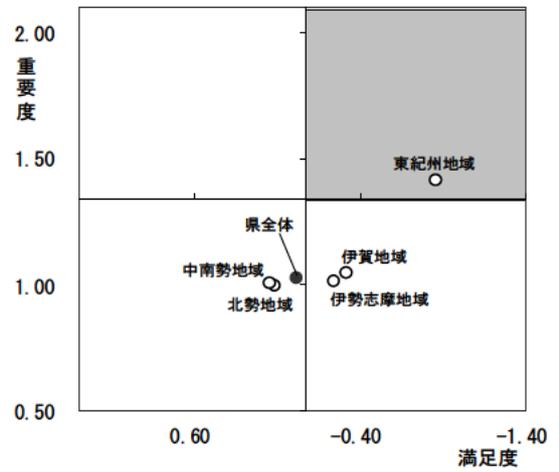
31 【雇用】



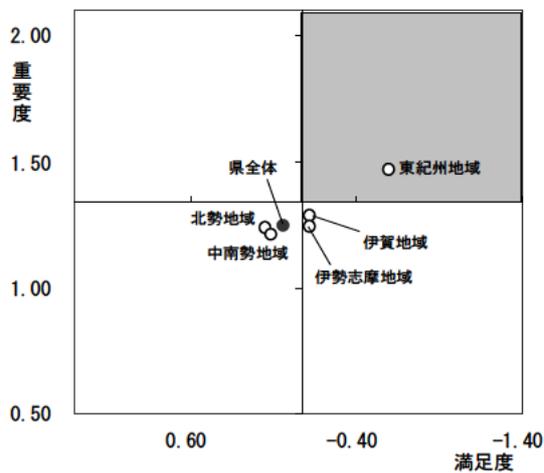
32 【職業能力開発】



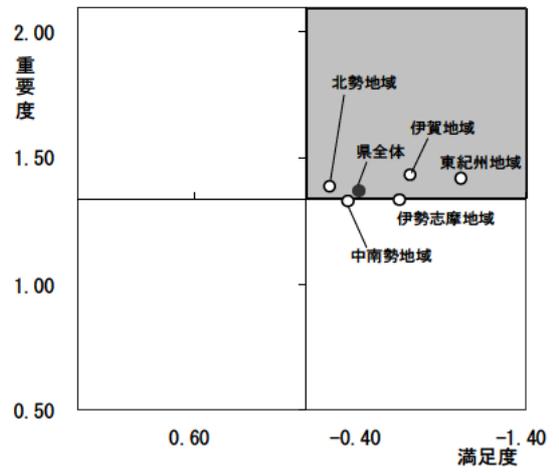
36 【高速交通網】

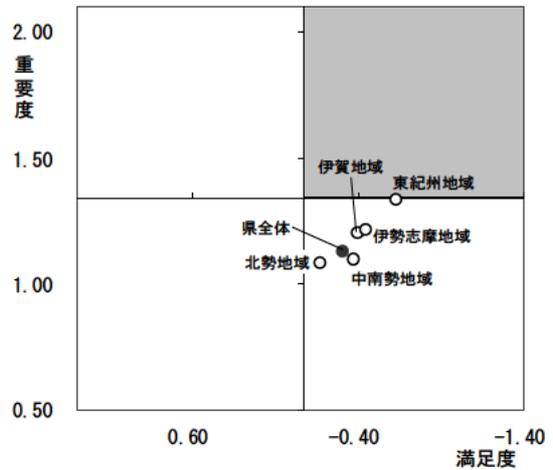
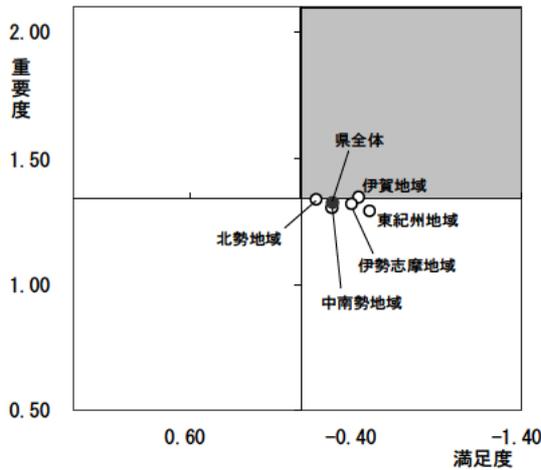


37 【道路の整備】



38 【公共交通機関】





④ 重要度・満足度に関する地域別の特色

表 特に県民ニーズが高い項目（Aゾーン）等に関する地域の特性

		北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
特に県民ニーズが高い項目（Aゾーン）等に関する地域の特性	県全体ではAゾーンに入っていないが地域別ではAゾーンに入っている項目	防犯 川や海の性質 快適なまちづくり	快適なまちづくり	災害対策 防犯	災害対策 農林水産業の振興 観光 職業能力開発	災害対策 農林水産業の振興 産業振興 観光 職業能力開発 高速交通網 道路の整備 農山漁村づくり
	県全体ではAゾーンに入っているが地域別ではAゾーンに入っていない項目	学校教育 子育て環境 医療体制 福祉サービス 地域商工業 地域での防災の取組	地球温暖化防止	公共交通機関	なし	青少年の健全育成 交通安全 福祉サービス 地球温暖化防止 地域での防災の取組

表 重要度・満足度の県全体との比較

		北勢	伊賀	中南勢	伊勢志摩	東紀州
平均値の県全体との比較	重要度 県全体(1.34)	ほぼ同じ (1.33)	やや高い (1.37)	ほぼ同じ (1.33)	やや高い (1.38)	高い (1.42)
	満足度 県全体(-0.07)	やや高い (0.00)	やや低い (-0.13)	やや低い (-0.11)	やや低い (-0.16)	低い (-0.18)
満足度の県全体との比較	満足度の高い項目	医療体制 雇用 産業振興 地域商工業 等	きれいな空気 自然環境との共生 地球温暖化防止 希少な生物 川や海の水質 等	高速交通網 文化・芸術 等	きれいな空気 川や海の水質 自然環境との共生 防犯 等	きれいな空気 川や海の水質 防犯 自然環境との共生 地球温暖化防止 等
	満足度の低い項目	きれいな空気 自然環境との共生 川や海の水質 地球温暖化防止 等	医療体制 公共交通機関 高速交通網 子育て環境 等	過疎地域等の振興 地域での防災の取組 雇用 地域商工業 等	医療体制 産業振興 雇用 職業能力開発 公共交通機関 地域商工業 高速交通網 港の整備 等	高速交通網 医療体制 道路の整備 公共交通機関 雇用 職業能力開発 過疎地域等の振興 産業振興 等

(3) 時系列分析でみた重要度、満足度の分析

重要度と満足度について、今回と前回（平成 21 年度）さらに 5 年前の平成 17 年度の 3 カ年について時系列分析を行いました。以下については、平成 17 年度と比較して重要度、満足度が 0.1 以上増減した項目を列挙しています。

< 県全体の 5 年間の動き >

・満足度が上がっているもの……「防犯」「飲料水の供給」「地域での防災の取組」「青少年の健全育成」「災害対策」「学校教育」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
13. 防犯	1.84	1.81	1.77	-0.40	-0.29	-0.06	0.34
44. 飲料水の供給	1.83	1.84	1.80	0.53	0.71	0.85	0.32
10. 地域での防災の取組	1.78	1.75	1.65	-0.39	-0.26	-0.08	0.31
04. 青少年の健全育成	1.73	1.75	1.72	-0.47	-0.42	-0.20	0.27
11. 災害対策	1.78	1.77	1.69	-0.24	-0.14	-0.01	0.23
03. 学校教育	1.73	1.73	1.70	-0.32	-0.24	-0.11	0.21

・満足度が下がっているもの……「産業振興」「職業能力開発」

	重要度			満足度			満足度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
27. 産業振興	1.21	1.19	1.24	-0.15	-0.33	-0.37	-0.22
32. 職業能力開発	1.20	1.25	1.26	-0.37	-0.50	-0.52	-0.15

・重要度が上がっているもの……「観光」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
28. 観光	1.11	1.18	1.26	-0.04	-0.05	-0.02	0.15

・重要度が下がっているもの……「ごみの減量」「エネルギー」「地球温暖化防止」「地域での防災の取組」「国際化」

	重要度			満足度			重要度 増減値
	H17	H21	H22	H17	H21	H22	
22. ごみの減量	1.52	1.40	1.33	-0.08	-0.16	0.00	-0.19
43. エネルギー	1.45	1.44	1.27	-0.32	-0.52	-0.38	-0.18
25. 地球温暖化防止	1.68	1.64	1.53	-0.31	-0.43	-0.15	-0.15
10. 地域での防災の取組	1.78	1.75	1.65	-0.39	-0.26	-0.08	-0.13
33. 国際化	0.90	0.81	0.77	-0.17	-0.18	-0.17	-0.13

